

「四季」 29 紙魚

学名 Thysanura

昆虫綱シミ目シミ科の昆虫の総称

銀色の鱗粉に覆われ、すばやく動き回る姿が魚に似ていることから名付いた。「衣魚」とも書く。

し み 郷土資料から見た「紙魚」のあれこれ

柏崎市立図書館は毎年11月に蔵書点検のため10日前後休館する。蔵書点検とは全蔵書を照合・点検し、蔵書の所在状況を明らかにする作業であるが、古くは「曝涼」「曝書」と呼ばれる虫干しが原型である。昔から夏の土用には衣服や図書などを風に通して湿気を払い、カビや虫害を防いできたが、図書の害虫として有名なのが紙魚である。

紙魚は、かつて和本にトンネル状の穴をあけて食べる虫と考えられていたが、実際は書籍の糊付けされた表面部分を浅くなめるようにかじり取るだけで、トンネル状の食害はフルホンシバンムシの幼虫によるものである。

だが表面的な被害であっても、字や絵が消えたり、紙は薄いので穴があいてしまったり、と図書を害する虫であることに変わりはない。和紙を好み、洋紙はあまり食害しない。

夏の土用の虫干しは熱気を含んでいるので乾燥した秋に行う方がよいといわれてきたが、冷暖房・空調や燻蒸設備のととのった今、利用者の少ない時期に蔵書点検を行う館が多くなってきている。

参考資料

- | | | | | | |
|--------------|-----------|------|-----------|----------|------|
| 「鳥獣虫魚歳時記 春夏」 | 朝日新聞社発行 | 2000 | 「日本大百科全書」 | 小学館発行 | 1994 |
| 「家屋害虫事典」 | 日本家屋害虫学会編 | 1980 | 「日本風俗史事典」 | 日本風俗史学会編 | 1980 |
| 「柏崎歳時記一曝書」 | 山田良平著 | 1957 | | | |